

# ★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

193号

★ 2017年9月21日



常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## — 都心低空飛行問題について —

### ○ 委員会を傍聴して

#### \* 8月22日区民環境委員会

この日は各地の集会所の廃止・統合について、存続を希望する陳情も審議され、その傍聴者が多いようでした。

常盤台の中央図書館の跡地についても、玉突き状態に決まるのですから、どんな施設が提案されるのか無関心ではられません。多くの人の、小規模でも図書館を、という希望も確約されていません。区は住民の意思・希望を調査することもなく、一方的に各施設を統廃合しようとしているように思えてなりません。

#### \* 8月24日都市建設委員会

この日は大山の都市計画道路の貫通に伴う再開発の地区計画の件で、傍聴者が10数名いました。珍しいことです。大山のハッピーロード傍に26階と27階の高層マンションが聳え立つという区案でした。

二つの委員会とも、新航空路への守る会の陳情は継続となりました。議員も職員も情報不足ではないかと思われました。国交省の説明をそのまま繰り返すのではなく、独自の調査や方針があってもよいのではないのでしょうか。

安全についての補償問題に視点がそらされがちですが、騒音被害があっても二重サッシの工事費などの補償は羽田周辺のごく一部にしかならない、と明言されています。

過密都市の上空を頻りに低空飛行させる非常識が許されるか否かの問題なのです。時代遅れの経済優先主義に加担するのか、国民の生命・安全を優先するのか、人を判断する際の重要な試金石になることでしょう。

### ○ 常盤電気が閉店

駅前商店街で唯一の電機店だった「常盤電気」が年内に閉店するという話です。大手電機メーカーは80歳以上の人が電気工事をすることを許可しないそうで、若い後継者がいない店はやむを得ず店じまいになってしまうのです。

永年気心の知れた付き合いをしてきた近所の方は、電球の付け替えや、戸締まりのようなことも頼めた手づるが無くなり、どうしようかと困っているようです。

### ○ 買い上げ賃貸アパート経営は危険

歳を取るにつれて一軒の家に住んでいることが煩わしくなってくる人もいるでしょう。経済的にも不安材料が多ければ尚更です。物価や税金は上がるけれど年金は減らされ、豊かな老後とは言えないと思うと、誰かや何かにすがりたくなるのは当然かも知れません。

そんな弱みにつけ込んで収入の安定した賃貸マンションのオーナーになりませんか、と不動産会社からしつこく勧められた経験はありませんか？

何億という資金は、自己資金も注ぎ込みますが、土地を担保にローンで35年返済の契約、一定の収入は会社が保証、左うちわで暮らせませす、と良いことづくめですが、聞いたところではトラブル続出、思ったほど借り手が見つかず、保証された一定収入も2年で契約更新なので、会社の都合の良いように変更され、借金返済が滞り、土地を手放す結果となった例が多いとか。

あなたの老後の大事な財産を失わないように、おいしい話には乗らないことです。

## 本屋のない町

朝日新聞（八月二四日）によれば全国で書店ゼロ自治体が二割にのぼるそうです。

常盤台から本屋がなくなったのは何年前からでしょう。コンビニなどでは週刊誌（子どもには見せたくないような類）が置いてあります。池袋に出ればジュンク堂や三省堂が西武側、朝日書店が東武デパートにあるので用は足りるとはいえ、文房具屋も無いこの街に、この上図書館までなくなると、駅前にも風俗店のある「痴」的な町になってしまいそうです。「緑と文化」という板橋区の目標とはうらはらに、都と区から景観重点地区の指定を受けながら、文化程度の低い町になって行くようで残念です。

## ドキュメンタリー映画

### 「かけはし」上映の紹介

日時・十月十八日（水）11:00・13:00

場所・練馬 観藏院（曼荼羅美術館）

料金・1000円

十六年前、新大久保駅で日本人を助けようとして犠牲になった韓国人留学生の関係者インタビュアー、ご両親は日韓のかけはしになりたいと言っていた息子スヒョンさんの遺志を継ぎ、全国からの弔慰金を日本におけるアジアからの留学生八四名に寄付してきました。

韓流ブームから嫌韓・ヘイトスピーチ・先の関東大震災時の朝鮮人虐殺事件の扱いなど、この十年間で揺れている日韓関係ですが、国家間の関係とは無関係に、人々の間でひっそりと、しかし着実にはぐくまれていく友好関係があります。監督は若い日本人女性です。

## 電線の地中化はいっ

常盤台の東西を走る通りには、見上げるばかりの巨大電柱が林立しています。大地震の時は道をへだてた向かい側の家を直撃し、道を遮って、救急車や消防車も通れなくするでしょう。

この通りだけでなく何十本という電線が醜く空を横断し、景観重点地区とは思えないお粗末な光景になっています。

九月にその巨大電柱を、撤去ではなく取り替える工事がありました。小池都知事が電線地中化を打ち出しましたが、進んでいないようです。

東電は既成の権益を守りたいだけなのかもしれません。かつて私たちが申し入れをした時も次の理由で門前払いをされました。

①地中化する代わり大きなボックスを地上に設置せねばならない、②莫大な費用がかかる。

しかし、①は技術の進歩で照明灯の上部に付ける位に小さく出来るようだし、今迄の電柱・電線の占めた空間に比べれば遙かによい。地中化が進んでいる外国の都市にはそんなものも見受けられない。②は頻繁に掘り返している道路工事をまとめれば良いのです。根気強く国・都・区へ働きかけをしていく他はありません。

## 停電後すぐ復旧

九月十九日の九時四十七分頃、常盤台一、二丁目と前野町の一部に落雷のための停電が瞬間的にありました。殆どの人は気づかなかつたと思います。ガス等の時刻表示が狂ったのではないかと思います。Nさんの情報で東電に聞きました。短時間なのでお知らせはないとか。

## 常盤台公園のはなづくり

梅雨時に酷暑が続き、水やりが追いつかなくてトレニアの殆どが枯れてしまったので、ペチュニア・ニチニチソウ・ヒマワリなどを補充しました。乾燥を防ぐため、周りの雑草を抜いて、グラントカバーとして敷いてみました。枯れた後も役目を果たすのでは無いかと思ったのです。

ところが植えた直後に雨など降って良かったと思っていたら、今度は梅雨めいた天気に戻り、日照不足を心配することになってしまいました。

グラントカバーのつもりだった雑草が、生き返ってまた繁茂してしまいました。何としぶといこと！

次の花苗が来る十一月まで、この夏を荒れた花壇にたくはありますが、お天気と雑草はままならぬものです。

公園にはありませんが、彼岸花が実際のお彼岸より十日ほど早く咲きました。何十年か後には名前を変えなければ？お墓に供えるので死人花と呼んで忌む人もいます。ようですが、こんな見事な造化の妙を不吉なものとおとしめるなんて、可哀想というか、勿体ないといふべきか。一輪をしてみ見ほれてしまいます。